

# 「富士山包括的保存管理計画」の改定及び 「ヴィジョン・各種戦略」の見直しについて（案）

## 1 概要

「富士山包括的保存管理計画」（以下、「保存管理計画」という）の今年度の改定については、今後の登山規制等に伴い、状況が大きく変化することが見込まれることから、時点更新のみとしている。（第 23 回富士山世界文化遺産学術委員会にて確認）

また、同保存管理計画分冊に掲載の「ヴィジョン・各種戦略」については、策定から長期が経過し、在り方を検討する必要があるため、以下のとおり方針を定める。

## 2 保存管理計画と「ヴィジョン・各種戦略」の関係性

保存管理計画	世界文化遺産への推薦の際、緩衝地帯を含め資産全体をどのように保存管理していくのかをまとめたもの。
ヴィジョン	<u>世界遺産登録時に、世界遺産委員会より「資産を『ひとつの存在』として、また『ひとつ（一体）の文化的景観』として管理するためのシステムを実現可能な状態にするよう」との勧告・要請を受け、策定したもの。</u>
各種戦略	ヴィジョンを実現するための方針・手法として定めたもの。

## 3 今後の方針について（案）

- ・「ヴィジョン・各種戦略」は、登山規制の実施に伴う登山者の動向等、想定される大きな変化を踏まえながら、次回の保存管理計画の改定とあわせて見直す。
- ・見直しに際しては、富士山の保全は保存管理計画が主軸になることから、保存管理計画と「ヴィジョン・各種戦略」の一元化も視野に協議を行う。
- ・上記について、来年度以降、検討のための小委員会を開催することとする。
- ・保存管理計画の今年度の改定は、「資料 2-2」のとおり時点更新を行う。

## <参考 1> 「富士山包括的保存管理計画」の詳細

区分	内容	策定期期	備考
本冊	富士山包括的保存管理計画	平成 24 年 1 月	5 年ごと見直し
分冊 1	各法令に基づく関係計画概要 (構成資産の保存管理計画 等)	平成 24 年 1 月	
分冊 2	緩衝地帯及び保全管理区域における基準 (景観形成基準、屋外広告物の許可基準 等)	平成 24 年 1 月	
分冊 3	イコモス評価書、世界遺産委員会決議文	-	
分冊 4	ヴィジョン・各種戦略	平成 26 年 12 月	
	Ⅰ. 世界文化遺産富士山ヴィジョン		
	Ⅱ. 下方斜面における巡礼路の特定		
	Ⅲ. 来訪者管理戦略		5 年ごと見直し
	Ⅳ. 上方の登山道等の総合的な保全手法		
	Ⅴ. 情報提供戦略		
	Ⅵ. 危機管理戦略		
	Ⅶ. 開発の制御		
	Ⅷ. 経過観察指標の拡充・強化		
分冊 5	遺産影響評価マニュアル	令和 4 年 3 月	

